弥生時代

名前

問1　縄文時代に続く弥生時代に使われた土器は、それ以前の縄文土器と比べて薄くて硬く、赤褐色をしていることが多いという特徴があります。この土器の名称として正しいものはどれか。（2016年 鳥取県公立入試 類似）

1. 須恵器
2. 弥生土器
3. 土師器
4. 黒色土器

問2　紀元前4世紀頃から稲作が普及し始めた弥生時代において、近畿地方を中心に多く発見されている、釣鐘のような形をした代表的な青銅器の名称は何ですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 埴輪
2. 銅鐸
3. 勾玉
4. 前方後円墳

問3　千葉県茂原市の宮ノ台遺跡から出土した、弥生時代中期の代表的な土器である「宮ノ台式土器」が作られていた頃の世界情勢について、日本の状況と関連付けて説明したものとして正しいものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 日本では狩猟や採集が生活の中心であり、世界ではエジプト文明においてピラミッドが建設されていた。
2. 日本では仏教が伝来し聖徳太子が政治を行っていたが、世界ではメソポタミアでハンムラビ王が法典を制定した。
3. 日本では稲作が定着し、地域ごとに特色ある土器が作られる一方で、西洋ではローマ帝国が地中海を支配していた。
4. 日本では鉄器の使用が始まったばかりであったが、世界では中国の殷（商）が文字や青銅器を使用し始めていた。

問4　弥生時代における「青銅器」と「鉄器」の使われ方の違いについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 青銅器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、鉄器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
2. 鉄器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、青銅器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
3. 鉄器は縄文時代から日本列島で独自に作られていたが、青銅器は弥生時代になって初めて大陸から伝わった。
4. 鉄器も青銅器も、ともに稲作を効率化するための農具としてのみ、実用的に普及した。

問5　中国の歴史書「魏志倭人伝」に記録されている邪馬台国の女王卑弥呼は、当時の中国の王朝である魏に使いを送りました。卑弥呼がこのような外交を行った背景や、その結果として得た称号について述べた文として正しいものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）

1. 大陸の優れた青銅器技術を独占するため、皇帝から「遣隋使」として認められた。
2. 白村江の戦いでの協力を依頼するため、皇帝から「日本国王」の称号を授かった。
3. 自らの権威を高めるために中国と通じ、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった。
4. 仏教を日本に広めるための援助を求め、皇帝から「倭王武」の称号を授かった。

問6　縄文時代末期から弥生時代にかけて、大陸から伝わった稲作がいち早く開始されたと考えられている、現在の福岡県や佐賀県を含む地域はどこですか。（2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 近畿
2. 北九州
3. 関東
4. 東北

問7　邪馬台国の女王である卑弥呼は、239年に中国の魏へ使節を送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かりました。卑弥呼がこのように中国の王朝と外交関係を結んだ主な政治的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 魏で施行されていた律令制度を学び、日本で最初の本格的な法治国家を建設するため
2. 魏の皇帝の権威を利用することで、対立していた狗奴国などに対して自国の優位性を示すため
3. 朝鮮半島南部にある任那の日本府を維持するために、魏へ軍事支援を要請するため
4. 魏から金銀などの貴金属を輸入し、国内で独自貨幣の発行を開始するため

問8　中国の歴史書とそこに記された倭（日本）に関する記述の組み合わせについて、記述内容から判断して「魏志」倭人伝の説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 邪馬台国の卑弥呼が使いを送り、死後には大きな塚が作られて100人余りの人々が殉葬されたとする記述
2. 倭王が中国の皇帝に対し、自らを「日出づる処の天子」と称する国書を送ったとする記述
3. 倭の奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かり、のちに倭国全体で大きな乱れが起きたとする記述
4. 倭人が100余りの国に分かれ、朝鮮半島の楽浪郡に定期的に使者を送っていたとする記述

問9　古代の東アジアにおいて、倭（日本）などの周辺諸国の首長や国王が、中国の皇帝に使者を送り、貢物を捧げた外交形式を何と呼びますか。この形式において、使者は中国の皇帝からその地域の支配権を認められ、称号や金印を授かることで、自らの権威を高めようとしました。（2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 朝貢
2. 通商
3. 民間貿易
4. 冊封

問10　3世紀の弥生時代、邪馬台国の女王である卑弥呼が行った外交について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 中国の魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かった。
2. 中国の隋に小野妹子を遣隋使として派遣し、対等な外交関係を求めた。
3. 中国の宋（南朝）に使いを送り、朝鮮半島南部での軍事的な指揮権を認められた。
4. 中国の漢（後漢）に使いを送り、光武帝から「漢委奴国王」の金印を授かった。

問11　稲作の伝来によって食料を蓄えることが可能になると、社会の仕組みが大きく変化しました。土地や水をめぐる争いが発生し、富や権力を持つ者が現れたことで生じた、当時の社会の変化として正しい説明を選びなさい。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. 朝廷が全国の人々を戸籍に登録し、すべての人に一律に口分田を支給した。
2. 各地に「クニ」と呼ばれるまとまりができ、それを支配する「王」が現れた。
3. 人々は定住をやめ、マンモスを追いかけて移動する生活に戻った。
4. 身分差がなくなり、すべての村人が平等に食料を分配する仕組みが完成した。

問12　ある博物館の「原始・古代」の展示室にて、3世紀の日本の様子を調査するために注目すべき史料や展示品の説明として、正しいものはどれですか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）

1. 中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述と、邪馬台国の女王が魏の皇帝から授かったとされる多数の銅鏡。
2. 飛鳥時代の政治状況を示す「古代の戸籍」の断片と、仏教伝来の様子を描いた壁画の模写。
3. 日本最古の貨幣とされる富本銭と、大宰府跡から出土した当時の外交官の記録。
4. 志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印と、当時の北九州の王が後漢へ朝貢したことを示す記述。

問13　弥生時代の社会状況を示す事例として、香川県にある紫雲出山遺跡のように、瀬戸内海を一望できる高い山の上に作られた「高地性集落」があります。卑弥呼が邪馬台国を治めていた時期を含め、このような特殊な場所に集落が作られた理由として、当時の社会背景を説明したものを選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 稲作が普及する中で、土地や水をめぐる集落間の争いが激化し、防衛や監視に有利だったため。
2. 遣隋使や遣唐使として派遣される人々を、高い場所から見送る儀式を行うため。
3. 大陸から伝来した仏教を修行するための山岳寺院を建てる必要があったため。
4. 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅の侵攻に備えて防衛拠点としての城を築いたため。